

2019年生まれの霞ヶ浦北浦ワカサギ資源水準について（4月時点での予測）

本年のワカサギ資源水準について、重要な資源変動要素と考えられる前年ワカサギ資源水準、春先のふ化仔魚の餌（初期餌料発生量）に着目し評価した結果をお知らせいたします。なお、本結果は7月の解禁前資源水準を4月時点で予測したものです。

○ 霞ヶ浦

ワカサギ資源水準は、前年より3～5倍程度多くなると見込まれます。なお、直近10年間^{※1}の平均と比べても資源水準は多い見込みです（下表及び下図左）。

○ 北 浦

ワカサギ資源水準は、前年程度で横ばいと見込まれます。なお、直近10年間の平均よりは少なくなる見込みです（下表及び下図右）。

※1 2009～2018年

表 資源変動要素と予測結果

	資源変動要素		予測結果
	前年のワカサギ資源水準	本年の初期餌料発生量 (3月第1週～4月第1週)	本年のワカサギ資源水準 (4月時点での予測)
霞ヶ浦	少ない (直近10年間で9位)	多い (11年間で ^{※2} 2位)	前年の3～5倍 (直近10年間平均より多い)
北 浦	やや少ない (直近10年間で7位)	少ない (11年間で ^{※2} 9位)	前年並み (直近10年間平均より少ない)

※2 2009～2019年

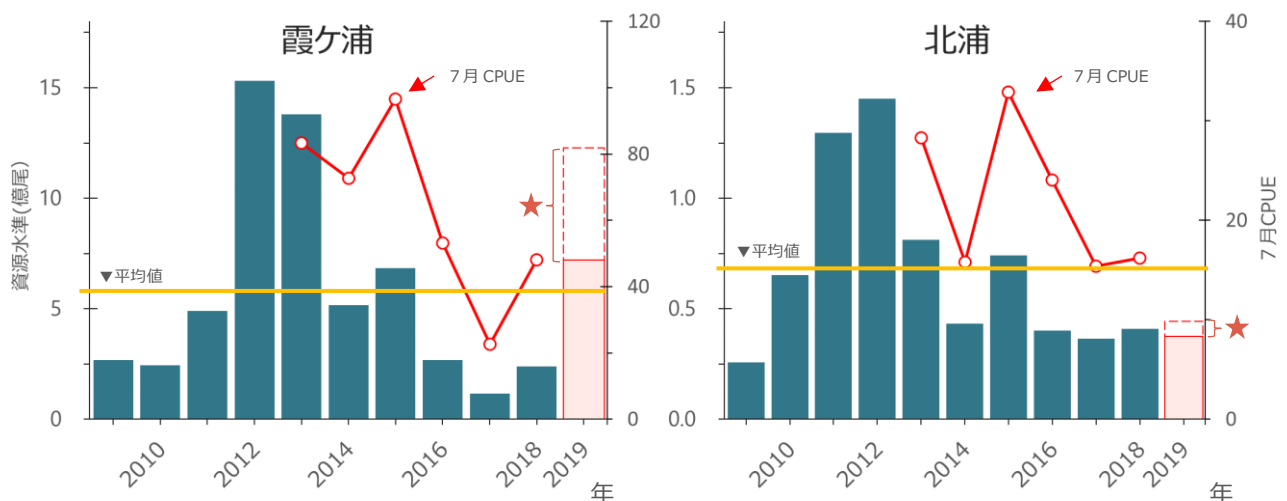


図 ワカサギ資源水準と7月CPUE

- 棒グラフの破線部分(★印)の範囲が4月時点での本年資源水準の予測幅
- 7月CPUEは7/21から7/31までの1隻1時間あたりのワカサギ漁獲量
(データ：トロール操業日誌 霞ヶ浦11～12隻、北浦5～8隻平均値)